

# 平成22年度長期研修生研修成果還元状況アンケート調査結果概要

県教育センター

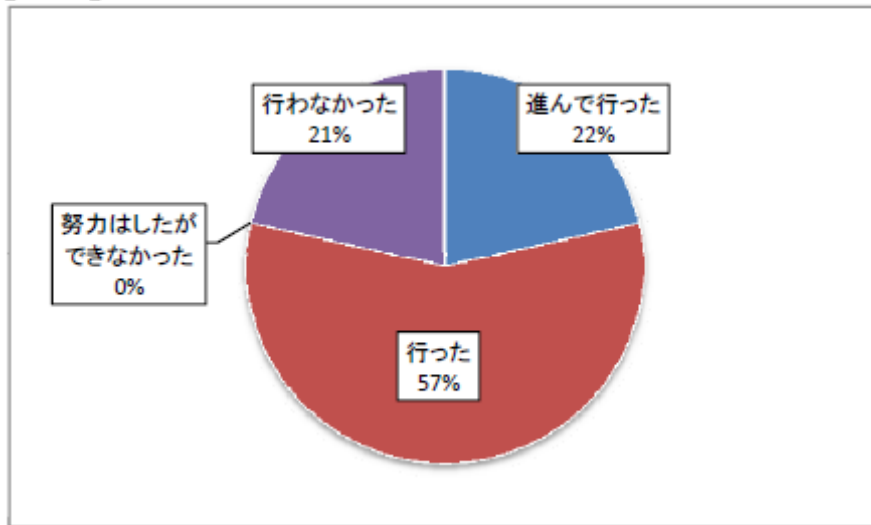
調査日：平成24年3月

回答数：14人

## 1、個人研究成果普及活動実施状況

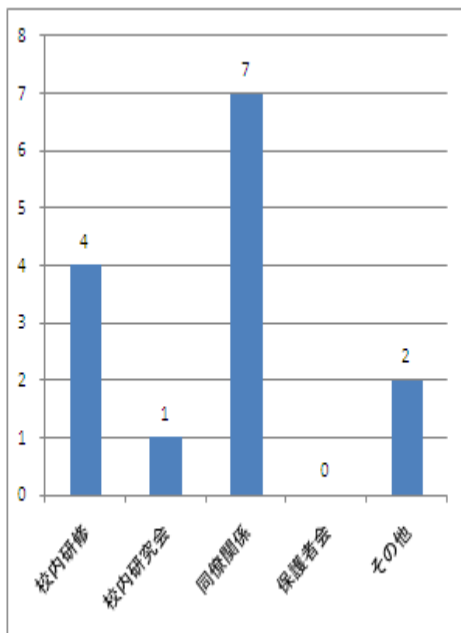
### (1) 個人研究の成果を学校現場等で「広める」取り組みや活動の実施状況

【1-1】 実施状況

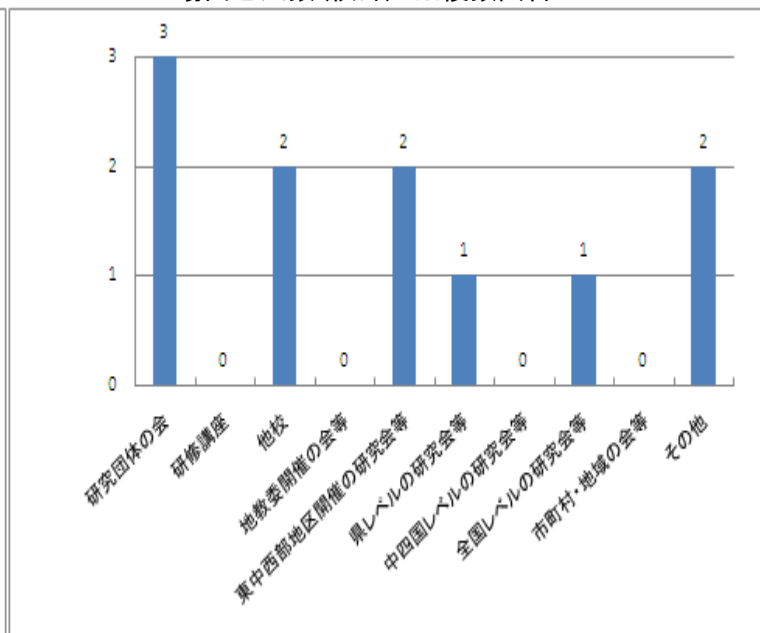


### (2) 具体的取組・活動場面（複数回答可）

場面と人数(校内) ※複数回答



場面と人数(校外) ※複数回答

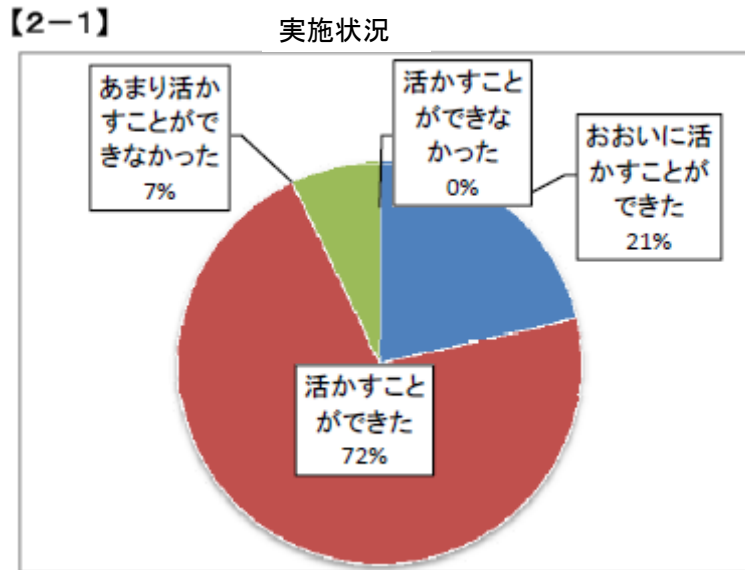


### (3) 取り組みや活動ができなかった理由

- ・自作ドリル作成はできなかったが、その理論に基づき、教科書の補充問題や市販のドリル問題を選択するときなどに研究の考えを生かすことができた。
- ・今後、学校独自のドリル作成をするときには助言できると思っている。
- ・昨年度の研究「校務の情報化」については、昨年度2学期から継続して行われてきており、今年度当初から通知表の電子化も行われ、校務の情報化が随分と進展したと自分自身が感じられたから。

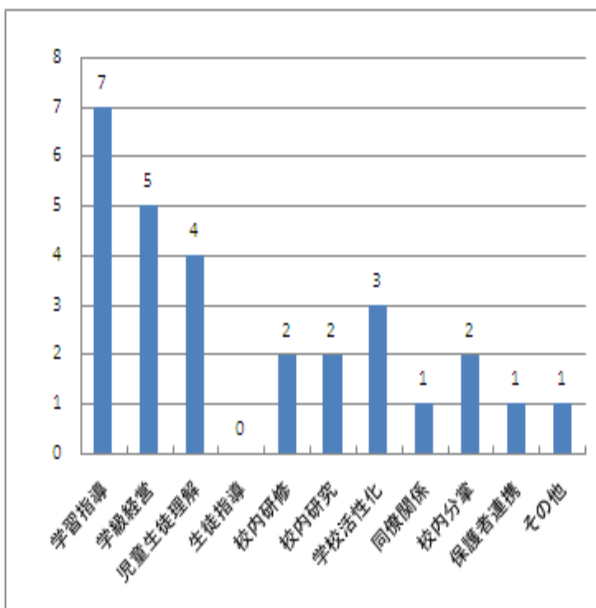
## 2、個人研究成果還元状況

### (1) 個人研究の内容に関する学校現場等での還元状況

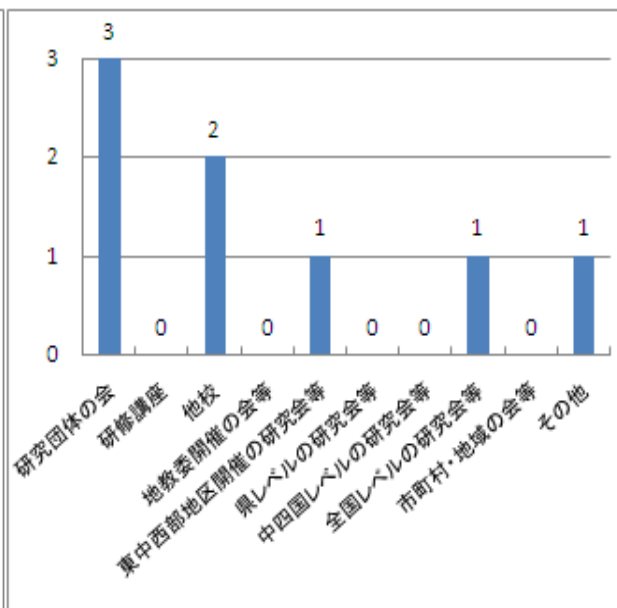


### (2) 具体的活動場面（複数回答可）

場面と人数(校内) ※複数回答



場面と人数(校外) ※複数回答

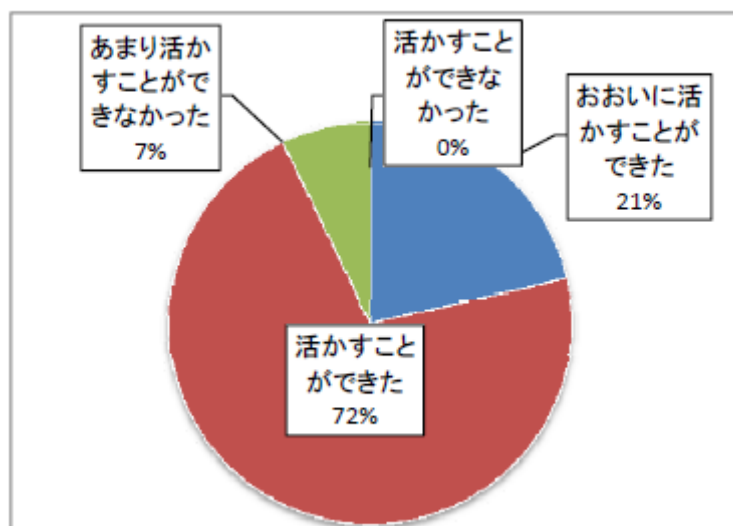


### 3、個人研究以外の研修成果還元状況

#### (1) 個人研究以外の研修成果の学校現場での還元状況

実施状況

【2-1】



#### (2) 具体的内容（記述）

- ・校内授業研究会に教育センターで指導を受けた指導主事に指導助言をお願いし、当日だけでなく、教材研究を一緒にしていただいたことで国語の指導力を高めることができた。
- ・他校種の学習状況について学んだことを意識しながら指導に生かすことができた。
- ・鳥取大学での聴講では、具体的な教材研究について講義を受けた。学生とともに行った教材研究、指導案作成など、1時間の授業を組み立てるときに今でも大いに参考になっている。
- ・今までは参加が難しかった他県での研究会に参加し、書籍等でしかお目にかかれないような有名な先生との話や質問できモチベーションを高めることができた。また同じ教科を研究する全国の仲間と知り合うことで、その後も交流している。
- ・他の研修生の教科やS G Eについての研究内容を授業や学級経営に活かすことができた。
- ・国語以外のいろいろな講座を受講して、学んだことを学級経営や教科指導で活かすことができた。さまざまな書籍を読む時間もあったため知識を増やすこともできた。
- ・個人研究とは別に、興味や関心を持ったこと（コーチングやICT活用など）について自分なりに学習したことを日々意識しながら取り組んでいる。
- ・学級経営、保護者との対応、個別の支援の方法をさがすときに活かしている。
- ・年度当初の出席表の更新や通知表の電子化に、スムーズに対応することができた。
- ・小中高間の学校理解が、小中連携の活動に活かした。
- ・さまざまな講座の聴講などが、日常の職務遂行に活かした。
- ・ICTを活用した教科指導で、ICT機器カメラ等を用いてわかりやすい授業展開をめざした。
- ・LHRで自己肯定感向上等での授業展開に活用した。
- ・鳥取大学での聴講（小中高の一貫した技術教育の確立）を基に、本校の制御・情報科の教育課程、実習テーマの検討を行うなどして教育課程編成の検討に活かした。
- ・研究のあり方や論文の書き方を知ることができ、校内研修の際に役立ったと感じる。

#### 4、長期研修生意見等

- ・なるべく、年齢が若いうちに長期にわたる個人研究をすることができたら、その後にさらに深みのある実践研究ができるのではないかと思った。
- ・大変貴重な1年間であった。このような研修制度が今後も継続されることをおねがいしたい。
- ・理論研究や先行実践研究もよかったが、授業研究を中心に研究を行い、授業改善をめざして取り組むことができてよかった。
- ・自己改善、学校改善に向けた研究として、教職経験が10年目から20年目の研修としてふさわしいと思う。
- ・長期研修生の個人研究は、自らの指導法や教育理念について振り返りを行うとともに、新しい知識を多くえることができたと思う。このことは、自らの教育力の質の向上に大いに役立ったと思う。今後も研究心を持って教育者としてよりより教育の実践をめざして精進したいと思う。
- ・長期研修生個人研究事業は、「よい教育者は、よい研究者であること」を修得できる大切な機会であり、今後も一層充実し、より多くの教員が長期研修生個人研究をかつようできるとよいと考える。